

氏名/所属/職名 **中野祐子** / **心理学科** / **准教授**

専門分野			
臨床心理学			
研究課題			
心理臨床における見立ての生成プロセスとその機能について、イメージや芸術療法を用いた心理療法と創造性、成人期女性の心理療法			
教育活動			
担当授業科目(学部)			
生涯発達心理学I、生涯発達心理学II、臨床心理学実習、演習A、演習B、卒業研究、人間と文化（平成26年度のみ）			
担当授業科目(大学院)			
臨床心理査定学演習I、臨床心理査定学演習II、臨床心理事例研究I、臨床心理事例研究II、総合的事例研究演習I、総合的事例研究演習II			
教育方法の実践例	年月	対象者	概要
帝塚山学院大学大学院 「臨床心理査定学演習I」	平成25年4月～28年3月(現在)	臨床心理学専攻大学院修士1回生	本演習の到達目標は、心理査定に関わる基本的な知識・技量・心構えを習得すること、査定面接における基本的態度や解釈の基礎を学ぶことである。心理査定技法のなかでも特に質問紙法と描画法、およびロールシャッハ・テストを重点的に取り上げている。各技法および人格理解のための基礎的理論を、体験実習と事例検討を含めた実践的知識と結びつけながら身につけていけるよう工夫した。受講生による文献発表、事例についてのディスカッションの時間を設け、受講生の積極的参加を促した。
帝塚山学院大学大学院 「臨床心理査定学演習II」	平成25年4月～28年3月(現在)	臨床心理学専攻大学院修士1回生	心理査定は、対人理解、対人援助といった心理臨床実践において根幹におかれる重要な素養・技術である。本演習では、受講生に予め、性格検査・描画法・ロールシャッハ法によるテストバッテリーを組んだ心理査定実施を課し、受講生による事例発表をもとにディスカッションと指導とを臨床実践に即して行った。また、心理査定における倫理について文献をとりあげ論じた。なかでも特に筆者が重視しているのは、被検査者と査定者とのあいだで生じる関係性への感覚をいかに滋養するかという点である。受講生には、最終的に事例所見を課題レポートとして課し、到達度の不足のあった者については個別にフィードバック面接を行った。
帝塚山学院大学 「生涯発達心理学I」 「生涯発達心理学II」	平成25年4月～平成28年3月(現在)	学部2回生以上	生涯発達心理学Iは、胎生期から青年期まで、生涯発達心理学IIで青年期から老年期までの心理的発達プロセスをたどりながら、各時期と関係の深い発達課題や危機を取り上げ、その意味について考えることをねらいとした講義である。 人生の各時期について、受講生が具体的に理解できるよう、映像資料(貴重な専門的資料のほか、映画作品など)を多用し、適切な引用とコメントとをこころがけた。
帝塚山学院大学 「臨床心理学実習」	平成25年4月～平成28年3月(現在)	学部3回生以上	心理学科の学部3回生以上を対象に、心理療法の技法を体験的に学ぶ機会を提供し、臨床心理学の基礎的知識と結びつけること、それらの作業を通じて自分自身や他者への理解を深めることをねらいとした授業である。描画法、箱庭療法、芸術療法のほか、ロールプレイによるカウンセリング場面の実演実習を実施。心理臨床的な意味で守られた自由な空間を、受講生とともにつくりあげてを年間を通して重視した。体験実習のあとには、体験の振り返りをして記述したり受講生同士で発表・共有する時間を設け、そのあとで関連する臨床心理学的知識や文献の紹介をその都度行う形式をとった。

作成した教材・資料集	年月	対象者	概要
その他教育活動上特記すべき事項			
高等学校における出張講義(帝塚山学院高校創研講座)	平成25年10月	帝塚山学院高校2年生	「思春期のこころ」をテーマに、50分×2時間分の講義を行った。心理臨床の立場から、思春期青年期におけるアイデンティティと時間的展望について、心理学的知見を紹介した。
高等学校における出張講義(帝塚山学院高校創研講座)	平成26年10月	帝塚山学院高校3年生	アニメ映画「時をかける少女」(細田守監督)を題材に、映画のストーリーおよび筒井康隆著による原作小説の分析をしながら、思春期心性についての考察を試み、50分×2時間分の講義を行った。
高等学校における出張講義(帝塚山学院高校創研講座)	平成28年1月	帝塚山学院高校1年生	「思春期のこころ」をテーマに、50分×2時間分の講義を行った。導入課題として、自分の人生図を描く課題を実施し、自身の過去・現在・未来を見つめる機会を設けた。思春期青年期の心性について論じるとともに、臨床心理士という仕事について紹介した。
大学院生のスーパーヴィジョン	平成27年10月～現在	京都文教大学大学院修士1回	京都文教大学大学院臨床心理学研究科より依頼を受け、修士1回生(開始時)のスーパーヴィジョンを担当。
研究活動			
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
著書・訳書・CD等			共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁など
論文			
心理学科でのIT技能を用いた教育活動の促進	共	平成24年12月	平成23年度 教育力向上に関する共同研究報告書(帝塚山学院大学)
進路上的困難を抱えた学生たちに対する教育支援のあり方に関する研究II-在学生調査の単純集計結果を中心に-	共	平成24年12月	平成23年度 教育力向上に関する共同研究報告書(帝塚山学院大学)
			広瀬隆(共同研究責任者)、中野祐子(共同研究者) p.64-66
			室住眞麻子(共同研究責任者)、中野祐子(共同研究者) p.74-85
学会発表			
演奏会・発表会			
その他の研究発表、演奏			
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)			
千葉論文へのコメント-「甘え」の表現をめぐる考察-		平成28年3月	帝塚山学院大学心理相談センター紀要第12号
経過の長い引継ぎ事例を理解しようとする際の検討点について -芝井論文へのコメント-		平成29年3月	帝塚山学院大学心理相談センター紀要第13号
			修了生千葉希望氏事例報告論文「社会的活動に精力的に取り組む母親との面接過程」へのコメント、p.99-102
			研究生芝井氏事例報告論文へのコメント(印刷中)
研究助成金の受給状況			
科研費の採択			
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別
なし	支給額		支給年度
その他の外部資金による活動			
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別
なし	支給額		支給年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要	

学内委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
平成25年4月～平成26年3月		入学前教育プロジェクト委員(学部)		
平成26年4月～現在に至る		学生部委員(学部)		
平成25年4月～現在に至る		心理教育相談センター運営委員(大学院)		
平成27年4月～現在に至る		大学院紀要編集委員(大学院心理相談センター紀要)		
社会活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
帝塚山学院大学生涯学習センター公開講座「体験！芸術療法・箱庭療法」	単	平成27年5-6月	帝塚山学院大学	芸術療法およびカウンセリング技法について紹介することをねらいとし、描画療法、箱庭療法、コラージュ療法の体験的講座を一般市民向けに開講した(1回あたり140分の枠組みで3回)。各技法の体験とともに受講生同士の心理学的交流、臨床心理学的立場による解説を行った。大阪狭山市、河内長野市、堺市、富田林市教育委員会後援。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
日本箱庭療法学会第30回大会準備委員会準備委員(平成28年度10月本学開催)				
所属学会: 日本心理臨床学会、日本箱庭療法学会、日本芸術療法学会				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
なし				